

おしどりミニだより

残暑が厳しい中にも、朝夕秋の気配を感じる季節となりました。いつもデイケアの家おしどりをご利用いただき有難うございます。

台風 21 号の接近の時にはご協力いただき有難うございました。9 月は台風シーズンです。皆様が安全に過ごして頂けますように職員一同万全を期していきたくと考えております。今月も宜しくお願い致します。



OMI CHIROBAKAI

社会福祉法人近江ちいろば会

デイケアの家おしどり (地域密着型)

2018 年 9 月 吉日



「生きることは食べること」

おしどりは毎日の食事を大切にしています。それは利用者さんが**自身の口からいつまでも食べることができ、健康で過ごせる**ことにこだわりを持ち続けているためです。ですからすべてが手作りです。

朝から、だしの香り、煮物のにおい、様々な材料や食材のにおいが室内に漂い利用者さんの五感を高めています。

ある時、食事ボランティアとして来てくださった方が、「おしどりさんに来させてもらい、食事を大切にしているところで調理をさせてもらっていることを本当に嬉しいと思う。ここで心を込めて料理をすることで自宅に帰っても手を抜かず食事を作る力をもらっている」と感想を言っていました。長年おしどりで食事作りに携わってくださった方からの嬉しい言葉です。

おしどりでの食事は、ボランティアさんや管理栄養士の知識と知恵で、季節の食材や季節に即した献立が毎日並びます。夏はゴーヤやナス、オクラ、トマトなど苦手な方が多い食材も食べやすくしたメニューがたくさん出ます。

おしどりやゆめとまの家の菜園で撮れた野菜、ご近所からいただいた野菜など余すことなく大切に調理しています。

又、一人暮らしの方や家族の帰りが遅く夕食を一人で食べる方は、特にたくさんの人と一緒に食べることで食欲も増すと喜びの声も多く聞かせていただいています。

あるご利用者さんが「**食べることは生きること、生きることは食べること**」と言っておられました。この方は入院中ペースト状の食事をされていましたが元気な時から食に対する意識が強い方でした。退院後は自分の口からしっかり食べよう「体は食べたもので出来ている」ということを身をもって示してくださっています。今では固形のをしっかり食べておられます。きちんと食べることで明日の元気を作り出しておられます。食事の前はいつまでも自分の口から食べることを目指しながら「いきいき百歳口腔体操」を欠かさずして口腔機能を維持しています。

おしどりは、食事ボランティアの方々、地域の皆さんに支えていただきながら、**生きるための食事**をこれからも提案し続けていきたいと思ひます。



おしどりイキキ「機能訓練Ⅱ」



住み慣れた自宅です。皆さんの願いです。しかし、高齢になり様々な病気、後遺症で自宅でのお過ごしに不便を感じておられる方が機能訓練Ⅱのリハビリを希望し受けておられます。

- ※自宅のお風呂に入りたい。
- ※居室が二階にあるのでいつまでも階段を安全に上りたい。
- ※一人で近くの自治会館の行事に行きたい。
- ※車いすからトイレの移乗を今よりスムーズにしたい。
- ※自宅で転倒なく暮らし続けたい。

目指す目標はお一人お一人違いますが、理学療法士（PT）の計画の下、日々リハビリに励んでおられます。



生活リハビリ

生活リハビリは自立・自律支援を目的としています。デイサービスで、今出来ることを見つけて経験し、自宅に帰っても同じようにできることが自立・自律支援だと考え日々取り組んでいます。おしどりではこの生活リハビリに夢や希望を見出し「生きる」力を持っていただきたいと云う目標を持っています。



今年おしどりで出来た黒玉のスイカです。

「さて、皆さんこのスイカ何キロ？正解者にはスイカ食べ放題！（笑）」

「そんなに食べられへん（笑）」

皆さんの期待に応えるかのように小さいけれど大変甘いスイカでした。

頂いた野菜で懐かしい味の再現。昼食の一品となりました。



毎月お誕生者の名前を「おめでとう」の想いを込めて墨でサラサラと書いて下さっています。

